

# 北海道開発計画調査等説明会 質疑応答

(1月18日開催分)

## ① 生産空間における地域産業の活性化に向けた物流システムの実装に関する調査

質疑はありませんでした。

## ② 生産空間における地域運営組織（RMO）等実態調査

Q 補足資料（令和5年度における追加検討）について、詳細にまとめて公表する予定はありますか。

A 令和5年度に追加検討した事項は、説明会資料P23～P24に掲載した補足資料のとおりになります。

Q RMOなどの集落の活動について、令和6年度以降に追跡調査される予定はありますか。

A 引き続き情報収集を行うとともに、追跡調査を行うかどうかは状況の変化等を踏まえて検討します。

## ③ 平成27年北海道内地域間産業連関表

質疑はありませんでした。

## ④ 農林水産業や食関連事業に係る立地企業等と地元とのマッチング成功事例等調査

質疑はありませんでした。

# 北海道開発計画調査等説明会 質疑応答

(1月23日開催分)

## ① 苫小牧東部地域におけるカーボンニュートラルの推進等に関する調査

Q 令和5年度も引き続いて調査を実施しているとのことですが、令和5年度はどのような調査内容になりますか。

A 令和5年度調査では、再エネ余剰電力による水素・アンモニアの製造量・利用量を推計し、苫東地域を中心とする水素サプライチェーンモデルの作成や国の計画や技術開発の動向等を踏まえ、2050年までのカーボンニュートラルを目指したロードマップ作成等を行っています。

## ② 根室地域への旅行者誘客調査

Q 旅行者にジープ等を貸し出すと、勝手に私有地や牧草地に乗り入れてしまう恐れがあると思いますが、そのような事例はありますか。

A 今回の調査では、根室地域の観光及び二次交通に関して一元的な情報発信を行うためのWEBサイトの構築を行いました。説明会で紹介したジープのレンタルは中標津町の事業者の取組になりますが、各事業者の個別の取組に対する課題やその対応策等につきましては調査対象としていないため、申し訳ありませんが把握しておりません。

Q 自動車と異なり、自転車にはナビはついていないと思います。迷子対策などされているのでしょうか。(例えば、GPSを貸し出すなど。)

A 今回の調査では、根室地域を周遊するための参考となるように公共交通機関等の情報をわかりやすく整理し一元的に情報発信したもので、その一つとして、自転車が借りられる場所を案内しております。迷子対策等各事業者の個別の取組に対する課題やその対応策につきましては調査対象としていないため、申し訳ございませんが把握しておりません。

Q 都市部から遠いといった地理的な関係やコンテンツの性質を踏まえると、ミレニウム世代よりも退職して余裕のある人たちをターゲットにした方がよいのではないのでしょうか。

A 本調査は令和3年度から継続して行ったもので、令和3年度の調査において新型コロナウイルス収束後の旅行意向を調査したところ、「20代から3

0代の若者」の旅行意向が強い傾向であることがわかりました。そのため、令和4年度の調査は、いわゆるミレニウム世代をターゲット層に定めて行いました。

③ **農畜産物及び加工食品の移出実態調査**

質疑はありませんでした。

④ **北海道産農産物の付加価値向上に向けた「新品種」PRの取組**

質疑はありませんでした。